

未来へつなぐ vol.14 | 松永 大祐 |

さいたま商工会議所 副会頭
株式会社松永建設 代表取締役社長

松永 大祐 (まつなが だいすけ)

1968年、さいたま市岩槻区生まれ。大学卒業後、竹中工務店に就職。1997年、松永建設入社・取締役となって父・功氏から直々に経営を学ぶ。2007年に39歳で代表取締役に就任すると、土地活用商品「ABオービットシリーズ」を展開。また、「企業は人なり」の理念のもと人材育成にも力を入れている。近年ではSNSの活用などにも積極的に取り組み、メディアから注目を集める。さいたま商工会議所建設業部会副会長を経て、2022年から副会頭。

「信頼を宝」に創業60周年 目指すは想像を超える感動創造企業

岩槻区の地域発展の基盤となっている、岩槻工業団地の誕生にも深く関わる松永建設。当初は建設業ではなかったという意外な歴史や、創業60周年を迎えた3代目社長として、次に目指すべきビジョンを伺いました。

当社は1963年に、私の祖父である松永忠三郎が立ち上げた材木業の会社を前身としています。祖父は岩槻市の市議会議員も務めており、とにかく岩槻の発展を願っていた人で、岩槻市の合併に際しては、大車輪の活躍だったそうです。

どちらかといえば公職に力を注いでいた祖父から、1973年に弱冠34歳で事業を引き継いだのが、父・松永功です。父は元々、世界を舞台に働きたいという夢を抱いて東京外語大で学び、卒業後はブリヂストンで働いておりました。2代目となった後は、約40年にわたり家業に邁進し、さいたま商工会議所の会頭も務めさせていただくなど、岩槻とさいたま市の発展に捧げた人生となりました。

祖父と父が成し遂げた最大の功績は、上場企業の大規模事業所を岩槻工業団地などへ誘致する「企業誘致計画」の推進です。市議として地域とのつながりが深かった祖父が、岩槻市や地権者に働きかけて開業したこの工業団地は、首都圏屈指の好アクセスが魅力です。

祖父と父は「町の活性化、地域発展には、なんといっても企業誘致」と考えていました。働く場所があれば人が集まる。企業からの税収が増えるだけでなく、その地で経済活動する人が、地域を広く潤すからです。彼らの熱心な誘致の結果、富士ゼロックス（現：富士フイルムビジネスソリューション）やコカ・コーラ、曙ブレーキ工業といった錚々たる大企業が岩槻に進出したのです。

創業以来、変わらぬ社是と これまでを越えてゆくために掲げた決意

こうした取り組みの中で当社は、新築工事だけではなく、工場や倉庫などの建物のメンテナンス管理なども承っていました。過去のメンテナンス履歴をはじめ、細部にわたって施設の特徴を把握していきました。お客様の担当者の方は定期的に転勤などがあり、ほかの工場へ異動されます。

そんなとき、誰よりも頼りになる存在として、当社はおお客様の信頼を獲得していきました。そして、いざ施設を一新する、工場を建て替える、さらには新たな工場を建設するといった際には「一番詳しい松永建設に頼んでは」と、ご指名いただけるようになりました。

2023年4月、おかげさまで当社は創業60周年を迎えました。社

是は「信以為宝」。「信をもって宝と為す」とは、お客様に信頼されることこそが何よりの宝であるという意味です。創業以来、当社の歩みを顧みると、まさに変えてはならない、企業としての核となるものです。その一方で、2007年に3代目社長となった私には、もうひとつ上のステージに進みたいという想いがあります。

「信頼に応える＝お客様の想像通りの仕事をする」だとするならば、それを超えるものをご提供したい。想像以上のモノ・サービスは、感動を生み、顧客満足度を高め、より深い信頼へとつながります。

3代目社長に就任するにあたり、松永建設3rdステージの指針として「感動創造建設会社」というスローガンを掲げました。祖父・父が培ったお客様との信頼、そして地域活性化への取り組みを、このスローガンを胸に、よりスケールアップして進めていく決意です。



さいたま市はもちろん、都内でも多数の実績を持つ松永建設。地域医療機関や工場、公共施設など、幅広い分野を展開している。

ゴールからの逆算思考が生み出す 感動を呼ぶ提案力

私事になりますが、今しかできないとの想いからカーレースに打ち込んでいます。レーサーは、目指すゴールから逆算して綿密に準備を重ね、全力で勝負に挑み、また次のレースに臨むもの。仕事においても同様に、結果を省みて、常にゴールやその先の展開から考えることを意識しています。

かつてのようにスクラップ&ビルド、造って終わりの建設業ではなく、維持し、再活用するSDGsの観点が求められるこの時代。末永くお客様を支えるパートナーとなり、地域に貢献するために、どのようなご提案ができるか。

そんな逆算の思考が、お客様の想像や期待をはるかに超える提案力を生み出すのではないかと考えています。



レース仕様に完全武装したマシンで、国内トップレベルのカーレースに挑む松永社長。